

一般演題 (口演)

■日時：12月3日(水) 11:10～11:50

■会場：第1会場(大阪国際会議場
10F 1003)

O1 臨床：薬剤耐性

座長 杉浦 互

(独立行政法人国立病院機構 名古屋医療センター)

菊池 嘉

(国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター)

O1-001 新規HIV/AIDS診断症例における薬剤耐性HIVの動向

岡崎玲子¹⁾、蜂谷敦子¹⁾、服部純子¹⁾、
瀧永博之²⁾、渡邊 大³⁾、長島真美⁴⁾、
貞升健志⁴⁾、近藤真規子⁵⁾、南 留美⁶⁾、
吉田 繁⁷⁾、森 治代⁸⁾、内田和江⁹⁾、
椎野禎一郎¹⁰⁾、加藤真吾¹¹⁾、千葉仁志⁷⁾、
伊藤俊広¹²⁾、佐藤武幸¹³⁾、上田敦久¹⁴⁾、
石ヶ坪良明¹⁴⁾、古賀一郎¹⁵⁾、太田康男¹⁵⁾、
山元泰之¹⁶⁾、福武勝幸¹⁶⁾、古賀道子¹⁷⁾、
岩本愛吉¹⁷⁾、西澤雅子¹⁰⁾、岡 慎一²⁾、
岩谷靖雅¹⁾、松田昌和¹⁾、重見 麗¹⁾、
保坂真澄¹⁾、林田庸総²⁾、横幕能行¹⁾、
上田幹夫¹⁸⁾、大家正義¹⁹⁾、田邊嘉也¹⁹⁾、
白阪琢磨³⁾、小島洋子⁸⁾、藤井輝久²⁰⁾、
高田 昇²⁴⁾、高田清式²¹⁾、山本政弘⁶⁾、
松下修三²²⁾、藤田次郎²³⁾、健山正男²³⁾、
杉浦 互^{1,10)}

- 1) (独) 名古屋医療センター
- 2) 国立国際医療研究センター
- 3) (独) 大阪医療センター
- 4) 東京都健康安全研究センター
- 5) 神奈川県衛生研究所
- 6) (独) 九州医療センター
- 7) 北海道大学
- 8) 大阪府立公衆衛生研究所
- 9) 埼玉県衛生研究所
- 10) 国立感染症研究所
- 11) 慶應義塾大学
- 12) (独) 仙台医療センター
- 13) 千葉大学
- 14) 横浜市立大学
- 15) 帝京大学
- 16) 東京医科大学
- 17) 東京大学医科学研究所
- 18) 石川県立中央病院
- 19) 新潟大学
- 20) 広島大学
- 21) 愛媛大学
- 22) 熊本大学
- 23) 琉球大学
- 24) おだ内科クリニック

O1-002 当センターにおけるRaltegravirの耐性症例の検討

青木孝弘、柴田 怜、柳川泰昭、小林泰一郎、
水島大輔、西島 健、木内 英、渡辺恒二、
本田元人、田沼順子、塚田訓久、照屋勝治、
瀧永博之、菊池 嘉、岡 慎一

国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター

O1-003 当センターにおけるRilpivirine耐性症例の検討

青木孝弘、柴田 怜、柳川泰昭、小林泰一郎、
水島大輔、西島 健、木内 英、渡辺恒二、
本田元人、田沼順子、塚田訓久、照屋勝治、
瀧永博之、菊池 嘉、岡 慎一

国立国際医療研究センター
エイズ治療・研究開発センター

O1-004 外部精度評価をもとにしたHIV薬剤耐性検査推奨法の考案

吉田 繁¹⁾、熊谷菜海²⁾、松田昌和³⁾、
橋本 修⁴⁾、岡田清美⁵⁾、伊部史朗⁵⁾、
和山行正⁵⁾、西澤雅子⁶⁾、佐藤かおり⁷⁾、
藤澤真一⁷⁾、遠藤知之⁸⁾、藤本勝也⁸⁾、
豊嶋崇徳⁸⁾、加藤真吾⁹⁾、杉浦 互³⁾

- 1) 北海道大学保健科学研究所
- 2) 北海道大学医学部保健学科
- 3) 国立病院機構名古屋医療センター
- 4) LSIメディエンス
- 5) 北里大塚バイオメディカルアッセイ研究所
- 6) 国立感染症研究所
- 7) 北海道大学病院検査・輸血部
- 8) 北海道大学病院血液内科
- 9) 慶應義塾大学医学部微生物学

一般演題 (口演)

■日時：12月3日(水) 9:30～10:40

■会場：第2会場(大阪国際会議場
10F 1001)

O2 臨床：抗HIV療法1

座長 渡邊 大

(独立行政法人国立病院機構大阪医療センター)

塚田訓久

(国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター)

O2-005 残存プロウイルス量と抗HIV療法の治療期間との関連についての検討

渡邊 大^{1,2)}、蘆田美紗¹⁾、鈴木佐知子¹⁾、
湯川理己^{1,2)}、廣田和之²⁾、伊熊素子²⁾、
小川吉彦²⁾、矢嶋敬史郎²⁾、笠井大介²⁾、
西田恭治²⁾、上平朝子²⁾、白阪琢磨^{1,2)}

1) 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター
臨床研究センターエイズ先端医療研究部
2) 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター感染症内科

O2-006 準完全長HIV-1プロウイルスの定量とその臨床的意義

親泊あいみ¹⁾、田水映子²⁾、須藤弘二¹⁾、
戸槇祐子³⁾、藤原 宏²⁾、長谷川直樹²⁾、
加藤真吾¹⁾

1) 慶應義塾大学医学部微生物学・免疫学教室
2) 慶應義塾大学医学部感染制御センター
3) 慶應義塾大学病院看護部

O2-007 国立大阪医療センターにおけるABC/3TC+RALについての検討

湯川理己¹⁾、渡邊 大¹⁾、廣田和之¹⁾、
伊熊素子¹⁾、小川吉彦¹⁾、矢嶋敬史郎¹⁾、
笠井大介¹⁾、西本垂矢²⁾、矢倉裕輝³⁾、
櫛田宏幸³⁾、富島公介³⁾、西田恭治¹⁾、
上平朝子¹⁾、白阪琢磨¹⁾

1) 独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センター
感染症内科
2) 同医療情報部
3) 同薬剤科

O2-008 日本人HIV患者におけるラルテグラビル薬物動態の検討

大木桜子¹⁾、土屋亮人²⁾、林田庸総²⁾、
増田純一¹⁾、湯永博之²⁾、菊池 嘉²⁾、
和泉啓司郎¹⁾、岡 慎一²⁾

1) 国立国際医療研究センター病院 薬剤部
2) 国立国際医療研究センター病院
エイズ治療・研究開発センター

O2-009 HIV患者におけるラルテグラビル髄液中濃度と薬物トランスポータの遺伝子多型についての検討

土屋亮人¹⁾、林田庸総¹⁾、濱田哲暢^{2,3)}、
加藤真吾⁴⁾、菊池 嘉¹⁾、岡 慎一^{1,5)}、
湯永博之^{1,5)}

1) 国立国際医療研究センター病院
エイズ治療・研究開発センター
2) 国立がん研究センター研究所
TR総合支援グループ 臨床薬理部門
3) 熊本大学大学院医学教育部
腫瘍治療・トランスレーショナル学分野
4) 慶應義塾大学医学部 微生物学・免疫学教室
5) 熊本大学エイズ学研究センター

O2-010 当センターにおける初回抗HIV療法の動向と新規インテグラーゼ阻害薬の使用経験

塚田訓久¹⁾、増田純一²⁾、赤沢 翼²⁾、
水島大輔¹⁾、西島 健¹⁾、青木孝弘¹⁾、
木内 英¹⁾、渡辺恒二¹⁾、本田元人¹⁾、
矢崎博久¹⁾、源河いくみ¹⁾、田沼順子¹⁾、
照屋勝治¹⁾、湯永博之¹⁾、菊池 嘉¹⁾、
岡 慎一¹⁾

1) 国立国際医療研究センター
エイズ治療・研究開発センター
2) 薬剤部

O2-011 当院におけるElvitegravir/Cobicistat/Tenofovir/Emtricitabine配合錠の初回導入例に関する検討

矢嶋敬史郎¹⁾、矢倉裕輝²⁾、湯川理己¹⁾、
廣田和之¹⁾、伊熊素子¹⁾、小川吉彦¹⁾、
笠井大介¹⁾、渡邊 大¹⁾、西田恭治¹⁾、
上平朝子¹⁾、白阪琢磨¹⁾

1) 国立病院機構大阪医療センター感染症内科
2) 国立病院機構大阪医療センター薬剤科

一般演題 (口演)

■日時：12月3日(水) 10:50～11:50

■会場：第2会場(大阪国際会議場
10F 1001)

O3 臨床：抗HIV療法2

座長 笠井大介

(独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター 感染症内科)

上田幹夫

(社会医療法人財団 董仙会 恵寿金沢病院)

03-012 駒込病院における抗HIV薬の使用状況
(その1)
～EVG/COBI/TDF/FTCの使用成績～

佐野俊彦¹⁾、朽木絵美¹⁾、柳澤如樹²⁾、
菅沼明彦²⁾、味澤 篤³⁾、今村顕史²⁾

- 1) がん・感染症センター都立駒込病院薬剤科
- 2) がん・感染症センター都立駒込病院感染症科
- 3) 東京都保健医療公社豊島病院

03-013 駒込病院における抗HIV薬の使用状況
(その2)
～EVGの有効性と安全性の検討～

朽木絵美¹⁾、佐野俊彦¹⁾、柳澤如樹²⁾、
菅沼明彦²⁾、味澤 篤³⁾、今村顕史²⁾

- 1) がん・感染症センター都立駒込病院薬剤科
- 2) がん・感染症センター都立駒込病院感染症科
- 3) 東京都保健医療公社豊島病院

03-014 石川県立中央病院におけるドルテグラビル
使用状況について

安田明子¹⁾、下川千賀子¹⁾、林 志穂¹⁾、
柏原宏暢¹⁾、山田三枝子²⁾、辻 典子²⁾、
小谷岳春³⁾

- 1) 石川県立中央病院 薬剤部
- 2) 公益財団法人エイズ予防財団
- 3) 石川県立中央病院免疫感染症科

03-015 当院におけるドルテグラビルの使用状況
について

安田 恵、日笠真一、秀田恭子、木村 健
兵庫医科大学病院薬剤部

03-016 当院におけるドルテグラビル変更の早期
の安全性と有効性の検討

鈴木克典¹⁾、齋藤和義²⁾、稲村由香³⁾、
寺本美江子^{1,4)}、田中美佐子⁴⁾、野田雅美⁵⁾、
曾我真千恵²⁾、真弓俊彦⁶⁾、田中良哉²⁾

- 1) 産業医科大学病院 感染制御部
- 2) 産業医科大学 第一内科学
- 3) 産業医科大学病院 薬剤部
- 4) 産業医科大学病院 看護部
- 5) 産業医科大学病院 事務部 医療支援課
- 6) 産業医科大学 救急医学

03-017 当院におけるドルテグラビルナトリウム
の使用例に関する分析

金井 修¹⁾、竹松茂樹²⁾、井上 悠³⁾

- 1) 独立行政法人国立病院機構京都医療センター呼吸器科
- 2) 独立行政法人国立病院機構京都医療センター薬剤部
- 3) 独立行政法人国立病院機構京都医療センター看護部

■日時：12月3日(水) 14:20～15:10

■会場：第2会場(大阪国際会議場
10F 1001)

O4 臨床：抗HIV療法3

座長 宮川寿一

(熊本大学医学部附属病院
血液内科・膠原病内科・感染免疫診療部)

吉野宗宏

(独立行政法人国立病院機構 姫路医療センター)

04-018 当院におけるdolutegravirの使用成績

吉村幸浩¹⁾、坂本洋平¹⁾、天野雄一郎¹⁾、
五十嵐俊²⁾、立川夏夫¹⁾

- 1) 横浜市立市民病院感染症内科
- 2) 横浜市立市民病院薬剤部

04-019 日本人HIV感染者におけるドルテグラビル
血中濃度の検討

水谷実花¹⁾、加藤万理¹⁾、戸上博昭¹⁾、
福島直子¹⁾、齋藤譲一¹⁾、松本修一¹⁾、
今村淳治²⁾、横幕能行²⁾、杉浦 互²⁾

- 1) 独立行政法人国立病院機構 名古屋医療センター
- 2) 国立病院機構名古屋医療センター
エイズ治療開発センター

一般演題 (口演)

04-020 名古屋医療センターにおける NRTI Sparing Regimen の検討

今村淳治¹⁾、横幕能行¹⁾、中畑征史^{1,2)}、鈴木 純³⁾、今橋真弓¹⁾、小暮あゆみ¹⁾、杉浦 互¹⁾

- 1) 名古屋医療センター エイズ治療開発センター
- 2) 同 呼吸器内科
- 3) 同 総合内科

04-021 慢性期合併症対策としての etravirine/raltegravir (ETR/RAL) 併用レジメンの試み

柳澤邦雄¹⁾、小川孔幸¹⁾、林 俊誠²⁾、小林宣彦¹⁾、石崎芳美³⁾、城田陽子⁴⁾、兒玉知子⁵⁾、合田 史⁶⁾、内海英貴⁷⁾、野島美久¹⁾

- 1) 群馬大学医学部附属病院 血液内科
- 2) 前橋赤十字病院 総合・感染症内科
- 3) 群馬大学医学部附属病院 看護部
- 4) 群馬大学医学部附属病院 患者支援センター
- 5) 群馬大学医学部附属病院 薬剤部
- 6) 国立病院機構高崎総合医療センター 総合診療科
- 7) 医療法人社団日高会 白根クリニック

04-022 当院におけるリルピビルン塩酸塩の使用成績 第2報

矢倉裕輝¹⁾、榎田宏幸¹⁾、富島公介¹⁾、西本亜矢²⁾、廣田和之³⁾、伊熊素子³⁾、小川吉彦³⁾、矢嶋敬史郎³⁾、笠井大介³⁾、渡邊 大³⁾、西田恭治³⁾、吉野宗宏⁴⁾、上平朝子³⁾、白阪琢磨³⁾

- 1) 国立病院機構 大阪医療センター 薬剤科
- 2) 国立病院機構 大阪医療センター 医療情報部
- 3) 国立病院機構 大阪医療センター 感染症内科
- 4) 国立病院機構 姫路医療センター 薬剤科

■日時：12月3日(水) 15:30～16:40

■会場：第2会場(大阪国際会議場 10F 1001)

O5 臨床：抗HIV療法4

座長 横幕能行

(独)国立病院機構 名古屋医療センター
エイズ治療開発センター)

藤井輝久

(広島大学病院 輸血部)

05-023 名古屋医療センターにおける抗HIV療法初回導入の動向調査

戸上博昭¹⁾、福島直子¹⁾、水谷実花¹⁾、加藤万理¹⁾、今村淳治³⁾、松本修一¹⁾、横幕能行²⁾、杉浦 互²⁾

- 1) 名古屋医療センター 薬剤科
- 2) 名古屋医療センター 臨床研究センター
- 3) 名古屋医療センター 感染症科

05-024 名古屋医療センターにおける抗HIV療法の薬剤変更に関する実態と傾向について

加藤万理¹⁾、戸上博昭¹⁾、水谷実花¹⁾、福島直子¹⁾、齋藤謙一¹⁾、松本修一¹⁾、今村淳治²⁾、横幕能行²⁾、杉浦 互²⁾

- 1) 独立行政法人国立病院機構 名古屋医療センター
- 2) 国立病院機構名古屋医療センター
エイズ治療開発センター

05-025 ガイドラインによる初回推奨/代替抗HIV療法以外の組み合わせで治療中の患者背景

菊地 正¹⁾、古川龍太郎²⁾、宮崎菜穂子¹⁾、佐藤秀憲¹⁾、大亀路生¹⁾、安達英輔²⁾、中村仁美¹⁾、古賀道子¹⁾、岩本愛吉^{1,2)}、鯉淵智彦²⁾

- 1) 東京大学医科学研究所
先端医療研究センター感染症分野
- 2) 東京大学医科学研究所 附属病院感染免疫内科

05-026 ART導入例におけるレジメンとウイルス量及びCD4数の変化の関係

藤井輝久¹⁾、齊藤誠司¹⁾、山崎尚也¹⁾、小川良子²⁾、木下一枝⁴⁾、藤井健司³⁾、藤田啓子³⁾、畝井浩子³⁾、高田 昇⁵⁾

- 1) 広島大学病院輸血部/エイズ医療対策室
- 2) 広島大学病院エイズ医療対策室
- 3) 広島大学病院薬剤部
- 4) 広島大学病院看護部
- 5) 広島文化学園大学看護学部

05-027 抗HIV療法中のlow level viremia症例の臨床検討

中村仁美¹⁾、古川龍太郎³⁾、佐藤秀憲²⁾、大亀路生²⁾、宮崎菜穂子⁴⁾、安達英輔³⁾、菊地 正²⁾、古賀道子²⁾、鯉淵智彦³⁾、岩本愛吉^{1,2,3)}

- 1) 東京大学医科学研究所 感染症国際研究センター
- 2) 東京大学医科学研究所 先端医療研究センター 感染症分野
- 3) 東京大学医科学研究所附属病院 感染免疫内科
- 4) 薬剤部

05-028 E/C/F/TDF 第III相臨床試験におけるアジア人での有効性及び安全性の評価 (投与144週時点)

松下修三¹⁾、大類 諭²⁾、D Wohl³⁾、N Clumeck⁴⁾、J Szwarcberg⁵⁾

- 1) 国立大学法人熊本大学 エイズ学研究センター
- 2) 日本たばこ産業株式会社
- 3) University of North Carolina
- 4) St Pierre University Hospital
- 5) Gilead Sciences

05-029 PI/r+F/TDF, NNRTI+F/TDF又はRAL+F/TDFからE/C/F/TDFへレジメン変更を行った試験におけるアジア人での有効性及び安全性の評価 (投与48週時点)

岡 慎一¹⁾、大類 諭²⁾、J Arribas³⁾、A Pozniak⁴⁾、A Mills⁵⁾、J Szwarcberg⁶⁾、D Piontkowsky⁶⁾

- 1) 独立行政法人 国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター
- 2) 日本たばこ産業株式会社
- 3) Hospital Universitario La Paz
- 4) Chelsea and Westminster Hospital
- 5) Anthony Mills MD
- 6) Gilead Sciences

■日時：12月3日(水) 9:30～10:40

■会場：第3会場 (大阪国際会議場 10F 1002)

O6 臨床：副作用1

座長 遠藤知之

(北海道大学病院 血液内科)

宇野健司

(奈良県立医科大学 感染症センター)

06-030 使用成績調査から得られたビリアード錠300mgの使用状況と副作用について (8年の調査期間)

小松文美、山田良一、南 千晶、森下友紀、丹 求

日本たばこ産業株式会社 医薬事業部 医薬情報部

06-032 尿β2ミクログロブリンのTDF腎障害の予測における有用性の検討

西島 健^{1,2)}、田中紀子³⁾、松井優作³⁾、川崎洋平⁴⁾、古川恵太郎¹⁾、柴田 怜¹⁾、柳川泰昭^{1,2)}、谷崎隆太郎¹⁾、小林泰一郎¹⁾、水島大輔^{1,2)}、青木孝弘¹⁾、渡辺恒二¹⁾、木内 英¹⁾、本田元人¹⁾、矢崎博久¹⁾、田沼順子¹⁾、塚田訓久¹⁾、照屋勝治¹⁾、瀧永博之^{1,2)}、菊池 嘉¹⁾、岡 慎一^{1,2)}

- 1) 国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター
- 2) 熊本大学 エイズ学研究センター
- 3) 国立国際医療研究センター臨床研究センター 医療情報解析研究部
- 4) 東京理科大学 理学部数学科

06-033 テノホビル/エムトリシタビン/エルビテグラビル/コビススタット、ドルテグラビル開始後の腎機能マーカーの推移

日笠真一¹⁾、安田 恵¹⁾、秀田恭子¹⁾、木村 健¹⁾、徳川多津子²⁾、澤田暁宏²⁾、日笠 聡²⁾

- 1) 兵庫医科大学病院薬剤部
- 2) 兵庫医科大学血液内科

06-034 広島大学病院におけるHIV感染者の骨代謝異常の現状と原因の検討

山崎尚也^{1,3)}、木下一枝²⁾、小川良子²⁾、喜花伸子³⁾、浅井いづみ³⁾、塚本弥生³⁾、藤井健司⁴⁾、藤田啓子⁴⁾、畝井浩子⁴⁾、齊藤誠司^{1,3)}、藤井輝久^{1,3)}、高田 昇⁵⁾

- 1) 広島大学病院 輸血部
- 2) 広島大学病院 看護部
- 3) 広島大学病院 エイズ医療対策室
- 4) 広島大学病院 薬剤部
- 5) 広島文化学園大学 看護学部

一般演題 (口演)

06-035 本邦初のTDF/FTC/EVG/COBI (STB)による横紋筋融解症が疑われた1例

治田匡平¹⁾、青井博志¹⁾、赤澤紫乃¹⁾、古西 満²⁾、宇野健司²⁾、善本英一郎²⁾、三笠桂一²⁾、梶井節子¹⁾

1) 奈良県立医科大学附属病院 薬剤部
2) 奈良県立医科大学 感染症センター

06-036 ABC/3TC + DRV + RTV + RALによるcART後に副腎不全が顕在化したAIDS症例

福田寛文、和田秀穂、徳永博俊、杉原 尚

川崎医科大学血液内科学

■日時：12月3日(水) 10:50～11:40

■会場：第3会場(大阪国際会議場
10F 1002)

07 臨床：副作用2・免疫再構築症候群など

座長 白野倫徳

(大阪市立総合医療センター 感染症センター)

宮崎菜穂子

(東京大学医科学研究所附属病院 薬剤部)

07-037 HIV感染者における尿中L型脂肪酸結合蛋白と慢性腎臓病の関連

日笠真一¹⁾、安田 恵¹⁾、秀田恭子¹⁾、木村 健¹⁾、徳川多津子²⁾、澤田暁宏²⁾、日笠 聡²⁾

1) 兵庫医科大学病院薬剤部
2) 兵庫医科大学血液内科

07-038 生活圏において安全な薬物治療を受け続けてもらうために～かかりつけ薬局利用(面分業)推進に向けた取組の現状と課題～

宮崎菜穂子¹⁾、小林路世²⁾、千野寿子²⁾、古川龍太郎³⁾、安達英輔³⁾、菊地 正³⁾、古賀道子³⁾、中村仁美³⁾、鯉淵智彦³⁾、岩本愛吉³⁾

1) 東京大学医科学研究所附属病院薬剤部/地域医療連携室
2) 同 看護部
3) 同 感染免疫内科

07-039 生活圏において適正な薬物治療を支え続けるために～スキルアップのための薬業協働の試み～

宮崎菜穂子¹⁾、圓岡大典²⁾

1) 東京大学医科学研究所附属病院
2) 国立病院機構東京病院

07-040 大腸菌由来RNA分解酵素MazF遺伝子を導入したCD4陽性T細胞の自家移植による遺伝子治療第I相臨床試験

Jacobson Jeffrey¹⁾、蝶野英人²⁾、Metz Meghan¹⁾、Plesa Gabriela³⁾、Jadlowsky Julie³⁾、Lacey Simon³⁾、Levine Bruce³⁾、吉岡広文²⁾、城所智秀²⁾、戸村大助²⁾、峰野純一²⁾、竹迫一任²⁾、June Carl³⁾

1) Drexel University College of Medicine
2) タカラバイオ株式会社
3) University of Pennsylvania

07-041 HBV/HIV重複感染者におけるART開始後のHBs抗原量の推移に関する検討

光本富士子¹⁾、村田昌之^{1,2)}、志水元洋¹⁾、豊田一弘¹⁾、小川栄一¹⁾、古庄憲浩^{1,2)}、林 純³⁾

1) 九州大学病院総合診療科
2) 九州大学大学院感染制御医学分野
3) 原土井病院九州総合診療センター

■日時：12月3日(水) 14:20～15:30

■会場：第3会場(大阪国際会議場
10F 1002)

08 臨床：日和見疾患1

座長 立川夏夫

(横浜市立市民病院)

西島 健

(国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター)

08-042 アトバコンの承認がニューモシスチス肺炎治療に及ぼした影響

白野倫徳¹⁾、笠松 悠¹⁾、市田裕之²⁾、佐々木剛²⁾、後藤哲志¹⁾

1) 大阪市立総合医療センター感染症センター
2) 大阪市立総合医療センター薬剤部

08-043 サイトメガロウイルス脳脊髄炎を合併したAIDSの一例

古川龍太郎¹⁾、菊地 正²⁾、安達英輔¹⁾、古賀道子²⁾、宮崎菜穂子³⁾、中村仁美⁴⁾、兼元みずき⁵⁾、武田克彦⁵⁾、鯉淵智彦¹⁾、岩本愛吉^{1,2,4)}

1) 東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科
2) 東京大学医科学研究所先端医療研究センター感染症分野
3) 東京大学医科学研究所附属病院薬剤部
4) 東京大学医科学研究所感染症国際研究センター
5) 国際医療福祉大学三田病院神経内科

一般演題 (口演)

08-044 病理学的検査により診断できたHIV合併クリプトスポリジウム症の一例

福島一彰¹⁾、田頭保彰²⁾、佐々木秀悟³⁾、
関谷紀貴³⁾、柳澤如樹¹⁾、菅沼明彦¹⁾、
味澤 篤⁴⁾、今村顕史¹⁾

- 1) がん・感染症センター都立駒込病院
- 2) 東京都立多摩総合医療センター感染症科
- 3) がん・感染症センター都立駒込病院臨床検査科
- 4) 東京都保健医療公社豊島病院

08-045 BKウイルス尿症が認められたHIV-1感染症患者の検討

村田昌之¹⁾、光本富士子¹⁾、居原 毅¹⁾、
志水元洋¹⁾、迎 はる¹⁾、豊田一弘¹⁾、
小川栄一¹⁾、江藤義隆¹⁾、古庄憲浩¹⁾、
林 純²⁾

- 1) 九州大学病院 総合診療科
- 2) 原土井病院 九州総合診療センター

08-046 VZV-IRISが疑われたVZV-ARNの一例

渡邊彩香¹⁾、細田智弘^{1,2)}、宮上泰樹¹⁾、
春日俊光³⁾、大串大輔^{1,4)}、志賀教克¹⁾、
乾 啓洋¹⁾、上原由紀¹⁾、磯沼 弘¹⁾、
内藤俊夫¹⁾

- 1) 順天堂大学医学部総合診療科
- 2) 川崎市立川崎病院感染症内科
- 3) 順天堂大学医学部眼科
- 4) 聖路加国際病院感染症科

08-047 当院におけるART時代のKaposi肉腫症例の治療成績・予後

柳川泰昭¹⁾、田里大輔²⁾、照屋勝治¹⁾、
柴田 怜¹⁾、古川恵太郎¹⁾、谷崎隆太郎¹⁾、
小林泰一郎¹⁾、水島大輔¹⁾、西島 健¹⁾、
木内 英¹⁾、青木孝弘¹⁾、渡辺恒二¹⁾、
本田元人¹⁾、田沼順子¹⁾、塚田訓久¹⁾、
瀧永博之¹⁾、菊池 嘉¹⁾、岡 慎一¹⁾

- 1) 国立国際医療研究センター病院
エイズ治療研究開発センター
- 2) 琉球大学大学院医学研究科
感染症・呼吸器・消化器内科学

08-048 耳下腺腫瘍を合併したHIV陽性5症例

松浦基夫¹⁾、大田加与²⁾、藤本卓司³⁾、
大成功一²⁾

- 1) 市立堺病院腎代謝免疫内科
- 2) 市立堺病院呼吸器内科
- 3) 市立堺病院総合内科

■日時：12月3日(水) 15:40～16:40

■会場：第3会場(大阪国際会議場
10F 1002)

09 臨床：日和見疾患2

座長 小林正行

(京都大学医学部附属病院 地域ネットワーク医療部)

徳川多津子

(兵庫医科大学 血液内科)

09-049 日本におけるHIV感染症に伴う日和見合併症の動向—全国HIV診療拠点病院アンケート調査より—

塚本美鈴¹⁾、寺坂陽子¹⁾、志岐直美¹⁾、
田代将人¹⁾、照屋勝治²⁾、泉川公一¹⁾、
安岡 彰³⁾

- 1) 長崎大学病院感染制御教育センター
- 2) 国立国際医療研究センター戸山病院
エイズ治療・研究開発センター
- 3) 市立大村市民病院

09-050 HIV感染者の剖検例における日和見感染症と腫瘍の頻度

片野晴隆¹⁾、比島恒和²⁾、望月 真^{3,6)}、
児玉良典⁴⁾、小柳津直樹⁵⁾、大田泰徳⁵⁾、
峰宗太郎^{1,6)}、猪狩 亨⁶⁾、味澤 篤²⁾、
照屋勝治⁶⁾、田沼順子⁶⁾、菊池 嘉⁶⁾、
岡 慎一⁶⁾、上平朝子⁴⁾、白阪琢磨⁴⁾、
鯉淵智彦⁵⁾、岩本愛吉⁵⁾、長谷川秀樹¹⁾、
岡田誠治⁷⁾、安岡 彰⁸⁾

- 1) 国立感染症研究所感染病理部
- 2) がん・感染症センター都立駒込病院
- 3) 杏林大学
- 4) 大阪医療センター
- 5) 東京大学医科学研究所
- 6) 国立国際医療研究センター
- 7) 熊本大学エイズ学研究センター
- 8) 大村市民病院

09-051 当院におけるHIV-1感染者のCMV感染症についての検討

大谷真智子、村松 崇、山元泰之、
四本美保子、一木昭人、備後真登、清田育男、
大瀧 学、尾形享一、萩原 剛、鈴木隆史、
天野景浩、福武勝幸

東京医科大学 臨床検査医学分野

一般演題 (口演)

09-052 HIV感染症合併ニューモシスチス肺炎の治療におけるステロイド併用期間の検討

柴田 怜、青木孝弘、西島 健、古川恵太郎、谷崎隆太郎、柳川泰昭、小林泰一郎、水島大輔、渡辺恒二、木内 英、本田元人、田沼順子、塚田訓久、湯永博之、照屋勝治、菊池 嘉、岡 慎一

国立国際医療研究センター ACC

09-053 ST合剤の脱感作療法中に発現する過敏症の発現時期と投与法に関する検討

富島公介¹⁾、榎田宏幸¹⁾、矢倉裕輝¹⁾、廣田和之²⁾、伊熊素子²⁾、小川吉彦²⁾、矢嶋敬史郎²⁾、笠井大介²⁾、渡邊 大²⁾、西田恭治²⁾、上平朝子²⁾、白阪琢磨²⁾

1) 独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センター 薬剤科

2) 独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センター 感染症内科

09-054 HIV感染者での心臓超音波検査による肺高血圧症スクリーニングの検討

松枝 佑¹⁾、和田達彦¹⁾、田中佳明¹⁾、荘 信博¹⁾、星山隆行¹⁾、高山陽子²⁾、廣畑俊成¹⁾

1) 北里大学医学部膠原病感染内科学

2) 北里大学病院感染管理室

■日時：12月3日(水) 9:30～10:10

■会場：第4会場(大阪国際会議場
10F 1009)

○10 社会：MSM

座長 日高庸晴

(宝塚大学 看護学部)

本間隆之

(山梨県立大学)

010-055 若年層のMSMを対象にしたコミュニティスペース利用者のライフスタイルとメンタルヘルスに関する調査

星野慎二¹⁾、長野 香¹⁾、宮島謙介^{1,2,4)}、井戸田一朗^{1,2)}、日高庸晴^{1,3)}、辻 宏幸⁵⁾、白阪琢磨⁶⁾

1) 特定非営利活動法人SHIP

2) しらかば診療所

3) 宝塚大学看護学部

4) 東京都福祉保健局健康安全部

5) 公益財団法人 エイズ予防財団

6) 独立行政法人 国立病院機構大阪医療センター

010-056 地方自治体とNGOの協働による中高年MSM層を対象としたHIV予防啓発定期刊行物の発行および発行を促進した要因

大畑泰次郎¹⁾、伴仲昭彦¹⁾、田中信雄¹⁾、後藤大輔¹⁾、尾崎拓治²⁾、野崎丈晴³⁾、塩野徳史⁴⁾、市川誠一⁴⁾、鬼塚哲郎⁵⁾

1) MASH大阪

2) 大阪府健康医療部健康づくり課

3) 大阪市保健所感染症対策課

4) 名古屋市立大学

5) 京都産業大学

010-057 診療所を窓口としたMSM向け検査キャンペーン(2013年)

川畑拓也¹⁾、森 治代¹⁾、小島洋子¹⁾、後藤大輔^{2,3)}、町登志雄^{2,3)}、鬼塚哲郎^{2,4)}、塩野徳史⁵⁾、市川誠一⁵⁾、岳中美江⁶⁾、岩佐 厚⁷⁾、亀岡 博⁸⁾、菅野展史⁹⁾、杉本賢治¹⁰⁾、高田昌彦¹¹⁾、田端運久¹²⁾、中村幸生¹³⁾、古林敬一¹⁴⁾

1) 大阪府立公衆衛生研究所

2) MASH大阪

3) 公益財団法人エイズ予防財団

4) 京都産業大学

5) 名古屋市立大学

6) 特定非営利活動法人CHARM

7) 岩佐クリニック

8) 亀岡クリニック

9) 菅野クリニック

10) 京橋杉本クリニック

11) 高田泌尿器科

12) 田端医院

13) 中村クリニック

14) そねざき古林診療所

010-058 首都圏居住のMSMを対象とした、HIV抗体検査普及のためのウェブコンテンツ「あんしんHIV検査サーチ」の構成とその検討

岩橋恒太^{1,2,3)}、高野 操⁴⁾、大島 岳^{1,3)}、阿部甚兵¹⁾、柴田 恵¹⁾、矢島 嵩^{5,6)}、加藤悠二⁷⁾、佐久間久弘^{1,3)}、大木幸子⁸⁾、塩野徳史²⁾、金子典代²⁾、市川誠一²⁾、生島 嗣⁵⁾、荒木順子^{1,3)}

1) akta

2) 名古屋市立大学

3) エイズ予防財団

4) 国立国際医療・研究センター

5) ぶれいす東京

6) 日本HIV陽性者ネットワーク・ジャンププラス

7) 国際基督教大学

8) 杏林大学

一般演題 (口演)

■日時：12月3日(水) 15:50～17:00

■会場：第4会場(大阪国際会議場
10F 1009)

O11 社会：陽性者支援1

座長 井上洋士

(放送大学)

田中千枝子

(日本福祉大学 社会福祉学部)

O11-059 HIV陽性者の医療機関への通院状況

細川陸也¹⁾、井上洋士²⁾、戸ヶ里泰典²⁾、
高久陽介^{3,4)}、矢島 嵩^{3,5)}、板垣貴志⁶⁾、
阿部桜子⁷⁾、吉澤繁行⁸⁾、大木幸子⁹⁾、
若林チヒロ¹⁰⁾、片倉直子¹¹⁾、山内麻江¹²⁾

- 1) 名古屋市立大学
- 2) 放送大学
- 3) 特定非営利活動法人日本HIV陽性者ネットワーク・ジャンププラス
- 4) 公益財団法人エイズ予防財団
- 5) 特定非営利活動法人ぶれいす東京
- 6) 株式会社アクセライト
- 7) NTT docomo
- 8) ANGEL LIFE NAGOYA
- 9) 杏林大学
- 10) 埼玉県立大学
- 11) 神戸市看護大学
- 12) 東京医科大学看護専門学校

O11-060 「Futures Japan HIV陽性者のためのウェブ調査」における回答者属性の特徴の検討

板垣貴志¹⁾、鈴木達郎¹⁾、井上洋士²⁾、
戸ヶ里泰典²⁾、高久陽介^{3,4)}、矢島 嵩^{3,5)}、
阿部桜子⁶⁾、細川陸也⁷⁾、吉澤繁行⁸⁾、
大木幸子⁹⁾、若林チヒロ¹⁰⁾、片倉直子¹¹⁾、
山内麻江¹²⁾

- 1) 株式会社アクセライト
- 2) 放送大学
- 3) 特定非営利活動法人日本HIV陽性者ネットワーク・ジャンププラス
- 4) 公益財団法人エイズ予防財団
- 5) 特定非営利活動法人ぶれいす東京
- 6) NTT docomo
- 7) 名古屋市立大学
- 8) ANGEL LIFE NAGOYA
- 9) 杏林大学
- 10) 埼玉県立大学
- 11) 神戸市看護大学
- 12) 東京医科大学看護専門学校

O11-061 HIV陽性者の陽性判明後の性行動及び性の相談に関連した経験に関する調査研究

井上洋士¹⁾、戸ヶ里泰典¹⁾、細川陸也²⁾、
阿部桜子³⁾、板垣貴志⁴⁾、片倉直子⁵⁾、
山内麻江⁶⁾、吉澤繁行⁷⁾、高久陽介^{8,9)}、
矢島 嵩^{8,10)}、若林チヒロ¹¹⁾、大木幸子¹²⁾

- 1) 放送大学
- 2) 名古屋市立大学
- 3) NTT docomo
- 4) 株式会社アクセライト
- 5) 神戸市看護大学
- 6) 東京医科大学看護専門学校
- 7) ANGEL LIFE NAGOYA
- 8) 日本HIV陽性者ネットワーク・ジャンププラス
- 9) 公益財団法人エイズ予防財団
- 10) ぶれいす東京
- 11) 埼玉県立大学
- 12) 杏林大学

O11-062 大阪における陽性者を主な対象とした電話相談の現状

大北全俊、岡本 学、岳中美江、土居加寿子、
平島園子、福庭加奈、福村和美、實來徳子

特定非営利活動法人CHARM

O11-063 電話相談に寄せられるHIV陽性者のトラブルおよび法的問題に関する相談から見えること

嶋田憲司¹⁾、藤部荒術¹⁾、河口和也^{1,2)}、
高嶋能文³⁾、柳橋晃俊¹⁾、飯塚信吾¹⁾、
太田昌二¹⁾、新美 広¹⁾

- 1) 特定非営利活動法人動くゲイとレズビアンのか(アカー)
- 2) 広島修道大学
- 3) 医療法人社団めぐみ会
自由が丘メディカルプラザ2小児科

O11-064 HIV陽性者の老後に対する不安について

細川陸也¹⁾、井上洋士²⁾、戸ヶ里泰典²⁾、
高久陽介^{3,4)}、矢島 嵩^{3,5)}、板垣貴志⁶⁾、
阿部桜子⁷⁾、吉澤繁行⁸⁾、大木幸子⁹⁾、
若林チヒロ¹⁰⁾、片倉直子¹¹⁾、山内麻江¹²⁾

- 1) 名古屋市立大学
- 2) 放送大学
- 3) 特定非営利活動法人日本HIV陽性者ネットワーク・ジャンププラス
- 4) 公益財団法人エイズ予防財団
- 5) 特定非営利活動法人ぶれいす東京
- 6) 株式会社アクセライト
- 7) NTT docomo
- 8) ANGEL LIFE NAGOYA
- 9) 杏林大学
- 10) 埼玉県立大学
- 11) 神戸市看護大学
- 12) 東京医科大学看護専門学校

一般演題 (口演)

O11-065 地域における新規HIV陽性者対象プログラムの実践と課題～大阪での「ひよっこクラブ」5年間の振り返り～

白野倫徳、岳中美江、伊達直弘、大野まどか、野坂祐子、柏木瑛信、松浦基夫、青木理恵子

特定非営利活動法人CHARM

■日時：12月3日(水) 14:20～15:00

■会場：第6会場(大阪国際会議場
12F 1202)

O12 基礎：アジア・アフリカ地域におけるHIVの分子疫学

座長 市村 宏

(金沢大学 医薬保健研究域医学系 ウイルス感染症制御学分野)

井戸栄治

(東京医科歯科大学大学院 歯学総合研究科)

O12-066 インドネシア・スラバヤ市の性産業従事者におけるHIV流行

亀岡正典^{1,2)}、小瀧将裕^{2,3)}、
Qamariyah Khairunisa Siti Qamariyah⁴⁾、
Sukartiningrum Septhia Dwi⁴⁾、
Arfijanto M. Vitanata⁴⁾、内海孝子^{2,3)}、
Normalina Irine⁴⁾、Handajani Retno⁴⁾、
Widiyanti Prihartini⁴⁾、Rusli Musofa⁴⁾、
Rahayu Retno Pudji⁴⁾、
Lusida Maria Inge⁴⁾、林 祥剛²⁾、
Nasronudin⁴⁾

- 1) 神戸大学大学院保健学研究科
- 2) 神戸大学大学院医学研究科感染症センター
- 3) 神戸大学インドネシア拠点
- 4) アイルランガ大学熱帯病研究所

O12-067 ラオス国におけるHIV-1遺伝子型および薬剤耐性変異解析

名原奈津紀¹⁾、渡部匡史¹⁾、荒木真由²⁾、
石崎有澄美³⁾、賀川裕貴¹⁾、小林 潤⁴⁾、
渡部久美⁵⁾、市村 宏³⁾、藤室雅弘¹⁾

- 1) 京都薬科大学 細胞生物学分野
- 2) 横浜薬科大学 薬用資源学
- 3) 金沢大学 医薬保健学研究域医学系
ウイルス感染症制御学
- 4) 琉球大学 医学部保健学科 国際地域保健学
- 5) 琉球大学 熱帯生物圏研究センター 感染免疫制御学

O12-068 コンゴ盆地最奥地に位置するコンゴ民主共和国赤道州北部におけるHIVの分子疫学

井戸栄治^{1,2)}、Ahuka Steve^{3,4)}、
Karhemere Stomy⁴⁾、
Mangonza Bienvenue⁵⁾、Aziati Ishmael²⁾、
Muyembe Jean-Jacques^{3,4)}

- 1) 東京医科歯科大学大学院歯学総合研究科
- 2) ガーナ大学野口記念医学研究所
- 3) キンシャサ大学医学部
- 4) コンゴ民主共和国国立生物医学研究所
- 5) ギメナ総合病院

O12-069 ガーナ国コフォリデュア州立病院における現行ARTの有効性評価に関する4年間に亘る追跡調査研究

井戸栄治^{1,2)}、Barnor Jacob²⁾、
Aziati Ishmael²⁾、Agbosu Esinam²⁾、
Brandful James²⁾、Ampofo William²⁾、
Danquah-Damptey George³⁾、
Morton Samuel³⁾、山岡昇司¹⁾

- 1) 東京医科歯科大学大学院歯学総合研究科
- 2) ガーナ大学野口記念医学研究所
- 3) コフォリデュア州立病院

■日時：12月3日(水) 15:05～15:55

■会場：第6会場(大阪国際会議場
12F 1202)

O13 基礎：複製1

座長 櫻木淳一

(大阪大学微生物病研究所 ウイルス感染制御分野)

上野貴将

(熊本大学 エイズ学研究センター)

O13-070 HIV-1マトリックス(MA)変異体を用いた複製前期過程の解析

引地優太^{1,2)}、武田英里³⁾、藤野真之¹⁾、
Freed Eric⁴⁾、中山英美³⁾、塩田達雄³⁾、
俣野哲朗^{1,2)}、村上 努¹⁾

- 1) 国立感染症研究所 エイズ研究センター
- 2) 東京大学 医科学研究所
- 3) 大阪大学 微生物病研究所 ウイルス感染制御分野
- 4) HIV Drug Resistance Program Center for Cancer Research National Cancer Institute, USA

O13-071 HIV-1インテグラーゼの逆転写過程以前における機能の解析

高畑辰郎¹⁾、徳永研三²⁾、長谷川温彦¹⁾、
神奈木真理¹⁾、増田貴夫¹⁾

- 1) 東京医科歯科大学 免疫治療学分野
- 2) 国立感染症研究所 感染病理部

一般演題 (口演)

O13-072 HIV-1 逆転写過程のストランド転移におけるウイルスゲノム RNA 5'末端配列の重要性

増田貴夫¹⁾、佐藤洋子¹⁾、高畑辰郎¹⁾、加藤義一¹⁾、厚井聡志¹⁾、長谷川温彦¹⁾、河合剛太²⁾、神奈木真理¹⁾

1) 東京医科歯科大学大学院 歯学総合研究科
2) 千葉工業大学 工学部 生命環境科学科

O13-073 プロモーター領域を標的としたRNAによる潜伏感染細胞からのHIV再活性化の抑制

鈴木一雄

St Vincent's Centre for Applied Medical Research,
The Kirby Institute, University of New South Wales,
Australian

O13-074 HIVパッケージングシグナル内最重要領域SL1の機能的構造に関する多角的解析

櫻木小百合、塩田達雄、櫻木淳一

大阪大学 微生物病研究所 ウイルス感染制御分野

■日時：12月3日(水) 16:00～16:50

■会場：第6会場(大阪国際会議場
12F 1202)

O14 基礎：複製2

座長 前田洋助

(熊本大学 大学院 生命科学研究部 感染防御)

田中勇悦

(琉球大学大学院医学研究科免疫学講座)

O14-075 α GalCer augmented the "trans-infection" of sulfatide-specific CD1a-restricted T cells via immature DCs

新谷英滋¹⁾、大脇敦子¹⁾、清水真澄¹⁾、Lucia MORI²⁾、Gennaro DE LIBERO²⁾、高橋秀実¹⁾

1) 日本医科大学大学院微生物学・免疫学分野
2) Singapore Immunology Network

O14-076 無治療の日本人HIV感染者におけるGag-Protease依存のウイルス増殖能と病態進行性の網羅的解析

阪井恵子¹⁾、近田貴敬¹⁾、長谷川真理¹⁾、瀧永博之^{1,3)}、岡 慎一^{1,3)}、滝口雅文^{1,2)}

1) 熊本大学 エイズ学研究センター
2) 熊本大学 国際先端医学研究拠点
3) 国立国際医療研究センター
エイズ治療・研究開発センター

O14-077 血友病のHIV slow progressor 6例を対象としたdeep sequencingによるtropism解析

林田庸総、土屋亮人、瀧永博之、菊池 嘉、岡 慎一

独立行政法人国立国際医療研究センター
エイズ治療・研究開発センター

O14-078 HIV-1 残存感染細胞の活性を測ることの意義

石坂 彩¹⁾、佐藤秀憲²⁾、立川(川名) 愛²⁾、中村仁美³⁾、古賀道子²⁾、細谷紀彰³⁾、鯉淵智彦⁴⁾、野本明男¹⁾、岩本愛吉^{2,3,4)}、水谷壮利¹⁾

1) 公財 微生物化学研究会 微生物化学研究所(微化研) 基盤生物研究部
2) 東京大学医科学研究所 先端医療研究センター 感染症分野
3) 東京大学医科学研究所 感染症国際研究センター
4) 東京大学医科学研究所附属病院 感染免疫内科

O14-079 次世代シーケンサーを用いたHIV感染時期推定法の研究

須藤弘二¹⁾、藤原 宏²⁾、佐野貴子³⁾、近藤真規子³⁾、井戸田一朗⁴⁾、今井光信⁵⁾、長谷川直樹²⁾、加藤真吾¹⁾

1) 慶應義塾大学医学部 微生物学・免疫学教室
2) 慶應義塾大学医学部 感染制御センター
3) 神奈川県衛生研究所 微生物部
4) しらかば診療所
5) 田園調布学園大学

■日時：12月3日(水) 9:30～10:40

■会場：第7会場(大阪国際会議場
10F 1008)

O15 社会：薬害

座長 松浦基夫

(市立堺病院 腎代謝免疫内科)

村上典子

(神戸赤十字病院)

O15-080 HIV感染血友病患者の健康関連QOLの実態調査

大金美和¹⁾、塩田ひとみ¹⁾、小山美紀¹⁾、柴山志穂美²⁾、久地井寿哉³⁾、岩野友里³⁾、柿沼章子³⁾、大平勝美³⁾、池田和子¹⁾、瀧永博之¹⁾、岡 慎一¹⁾

1) 独立行政法人国立国際医療研究センター
エイズ治療・研究開発センター
2) 杏林大学保健学部看護学科看護養護教育専攻
3) 社会福祉法人はばたき福祉事業団

一般演題 (口演)

**015-081 HIV / HCV 重複感染患者の支援特性
(第5報) ~薬害HIV感染被害者の長期間
生存データに基づく生存予測分析**

久地井寿哉¹⁾、柿沼章子¹⁾、岩野友里²⁾、
大平勝美¹⁾

- 1) 社会福祉法人はばたき福祉事業団
- 2) 公益財団法人エイズ予防財団

**015-082 HIV / HCV 重複感染患者の支援特性
(第6報) ~薬害HIV感染被害者の長期療
養と今後の支援の方向性と提言**

柿沼章子¹⁾、久地井寿哉¹⁾、岩野友里²⁾、
大平勝美¹⁾

- 1) 社会福祉法人はばたき福祉事業団
- 2) 公益財団法人エイズ予防財団

**015-083 HIV 感染血友病における抗HIV薬の未使
用例について**

立浪 忍¹⁾、三間屋純一²⁾、白幡 聡³⁾、
大平勝美⁴⁾、花井十伍⁵⁾、桑原理恵⁶⁾、
秋田美恵子⁷⁾、瀧 正志⁸⁾

- 1) 聖マリアンナ医科大学医学統計学
- 2) 静岡県熱海健康福祉センター
- 3) 北九州八幡東病院
- 4) 社会福祉法人はばたき福祉事業団
- 5) ネットワーク医療と人権
- 6) 聖マリアンナ医科大学イントロブ研究施設
- 7) 聖マリアンナ医科大学小児科
- 8) 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院小児科

**015-084 大阪医療センターにおける薬害HIV遺族
健康診断の取組みを通じた今後の遺族支
援の検討**

西川歩美^{1,2)}、仲倉高広²⁾、下司有加³⁾、
白阪琢磨⁴⁾

- 1) ネットワーク医療と人権
- 2) 大阪医療センター 臨床心理室
- 3) 大阪医療センター
- 4) 大阪医療センター HIV/AIDS 先端医療開発センター

**015-085 HIV 感染血友病患者の医療と福祉の連携
へのアプローチ~療養支援アセスメント
シートの検討~**

塩田ひとみ¹⁾、大金美和¹⁾、渡部恵子²⁾、
坂本玲子²⁾、伊藤ひとみ³⁾、川口 玲⁴⁾、
石塚さゆり⁴⁾、山田三枝子⁵⁾、高山次代⁵⁾、
羽柴知恵子⁶⁾、鍵浦文子⁷⁾、木下一枝⁸⁾、
長與由紀子⁹⁾、城崎真弓⁹⁾、池田和子¹⁾、
瀧永博之¹⁾、岡 慎一¹⁾

- 1) 国立国際医療研究センター病院
- 2) 北海道大学病院
- 3) NHO 仙台医療センター
- 4) 新潟大学医歯学総合病院
- 5) 石川県立中央病院
- 6) NHO 名古屋医療センター
- 7) 広島大学
- 8) 広島大学病院
- 9) NHO 九州医療センター

**015-086 心理専門カウンセラーおよびピアカウ
ンセラーの介入に関する研究**

藤原良次¹⁾、早坂典生¹⁾、橋本 謙²⁾、
山田富秋³⁾、種田博之⁴⁾、藤原 都¹⁾、
白阪琢磨⁵⁾

- 1) 特定非営利活動法人りょうちゃんず
- 2) 岐阜県/愛知県スクールカウンセラー
- 3) 松山大学
- 4) 産業医科大学
- 5) 国立病院機構大阪医療センター

■日時：12月3日(水) 10:50~11:40

■会場：第7会場(大阪国際会議場
10F 1008)

016 社会：検査・相談体制1

座長 岩室紳也

(厚木市立病院 泌尿器科)

今井光信

(田園調布学園大学)

**016-087 NGOと行政が連携した検査イベントに
おける現状と課題に関する一考察**

藤原良次、早坂典生

特定非営利活動法人りょうちゃんず

**016-088 東京都内公的検査機関におけるHIV
検査数および陽性例の解析(2008年
と2013年の比較)**

長島真美、宮川明子、新開敬行、林 志直、
貞升健志、甲斐明美

東京都健康安全研究センター 微生物部

一般演題 (口演)

O16-089 HIVスクリーニング検査の偽陽性に関する検討

吉澤定子^{1,2)}、栗林智子³⁾、奥田 誠³⁾、
宮崎泰斗²⁾、前田 正²⁾、福井悠人^{1,2)}、
塚田真弓¹⁾、佐藤恵美¹⁾、舘田一博⁴⁾、
瓜田純久²⁾、小原 明³⁾

- 1) 東邦大学医療センター大森病院 感染管理部
- 2) 東邦大学医療センター大森病院 総合診療・急病センター
- 3) 東邦大学医療センター大森病院 輸血部
- 4) 東邦大学医学部微生物・感染症学講座

O16-090 HIV 郵送検査に関する実態調査と検査精度調査 (2013)

須藤弘二¹⁾、佐野貴子²⁾、近藤真規子²⁾、
今井光信³⁾、加藤真吾¹⁾

- 1) 慶應義塾大学医学部 微生物学・免疫学教室
- 2) 神奈川県衛生研究所 微生物部
- 3) 田園調布学園大学

O16-091 唾液によるHIV抗体スクリーニング検査の有用性の検討

宇佐美雄司¹⁾、總山貴子¹⁾、菱田純代¹⁾、
荒川美貴子¹⁾、横幕能行²⁾、杉浦 互³⁾

- 1) 国立病院機構名古屋医療センター歯科口腔外科
- 2) 国立病院機構名古屋医療センターエイズ総合診療部
- 3) 国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター感染・免疫研究部

O17-093 東京都南新宿検査相談室におけるHIV検査受検者の動向 その2 ～相談行動より相談ニーズの分析と予防を中心としたアプローチの検討～

矢永由里子^{1,2)}、櫻井具子^{1,3)}、角田洋隆¹⁾、
今井朋美¹⁾、小沼和広¹⁾、山本貴子¹⁾、
村主千明¹⁾

- 1) 東京都南新宿検査・相談室
- 2) 慶應義塾大学医学部感染制御センター
- 3) 遠藤嗜癪問題相談室

O17-094 無料匿名検査に併せて施行したアンケート調査に見る受検者の背景と今後の課題

保科斉生、田村久美、保阪由美子、清水昭宏、
佐藤文哉、堀野哲也、中澤 靖、堀 誠治

東京慈恵会医科大学附属病院 感染制御部

O17-095 保健所のHIV検査相談を利用した妊婦の受検動機等に関する調査

佐野貴子¹⁾、山田里佳²⁾、矢永由里子³⁾、
近藤真規子¹⁾、塚原優己⁴⁾、今井光信⁵⁾、
加藤真吾⁶⁾

- 1) 神奈川県衛生研究所微生物部
- 2) 愛知厚生連海南病院産婦人科
- 3) 慶應義塾大学医学部感染制御センター
- 4) 国立成育医療研究センター産科
- 5) 田園調布学園大学
- 6) 慶應義塾大学医学部微生物学・免疫学教室

■日時：12月3日(水) 14:20～15:10

■会場：第7会場(大阪国際会議場
10F 1008)

O17 社会：検査・相談体制2

座長 矢永由里子

(慶應義塾大学医学部 感染制御センター)

佐野貴子

(神奈川県衛生研究所 微生物部)

O17-096 感染不安の背景に深刻な精神的・心理的課題を抱えた受検者への心理支援

森 祐子^{1,2)}、鎌田依里^{1,3)}、小島菜々子^{1,3)}、
横幕能行¹⁾、杉浦 互¹⁾

- 1) 独立行政法人国立病院機構名古屋医療センターエイズ治療開発センター
- 2) エイズ予防財団 リサーチレジデント
- 3) エイズ予防財団 エイズ診療中核拠点病院相談員

O17-092 東京都南新宿検査・相談室におけるHIV検査受検者の動向 その1～相談概要と陽性告知後相談の援助内容を中心として～

櫻井具子^{1,2)}、矢永由里子^{1,3)}、角田洋隆¹⁾、
今井朋美¹⁾、小沼和広¹⁾、山本貴子¹⁾、
村主千明¹⁾

- 1) 東京都南新宿検査・相談室
- 2) 遠藤嗜癪問題相談室
- 3) 慶應義塾大学医学部感染制御センター

一般演題 (口演)

■日時：12月3日(水) 15:20～16:00

■会場：第7会場(大阪国際会議場
10F 1008)

O18 社会：疫学

座長 中瀬克己

(岡山大学 医療教育総合開発センター)

井戸田一郎

(しらかば診療所)

O18-097 Estimate of HIV prevalence in Japan

Nishiura Hiroshi

Graduate School of Medicine, The University of
Tokyo

O18-098 梅毒はどのくらい増えているのか？

井戸田一郎

しらかば診療所

O18-099 WB法HIV抗体確認検査陽性数による全国
のHIV診断動向

中瀬克己¹⁾、川畑拓也²⁾、中谷友樹³⁾、
山岸拓也⁴⁾、尾本由美子⁵⁾、神谷信行⁶⁾、
杉下由行⁶⁾、高野つる代⁷⁾

- 1) 岡山大学医療教育総合開発センター
- 2) 大阪府立公衆衛生研究所
- 3) 立命館大学文学部
- 4) 国立感染症研究所
- 5) 豊島区保健所
- 6) 東京都健康安全センター
- 7) 横浜市磯子区福祉保健センター

O18-100 慶應義塾大学病院におけるHIV-1複合感染
(dual infection) の検討

藤原 宏¹⁾、須藤弘二²⁾、加藤真吾²⁾、
親泊あいみ²⁾、上菱義典¹⁾、南宮 湖³⁾、
小谷 宙⁴⁾、戸蒔祐子⁵⁾、長谷川直樹¹⁾、
岩田 敏¹⁾

- 1) 慶應義塾大学医学部感染制御センター
- 2) 慶應義塾大学医学部微生物学・免疫学教室
- 3) 慶應義塾大学医学部呼吸器内科
- 4) 慶應義塾大学病院薬剤部
- 5) 慶應義塾大学病院看護部

■日時：12月4日(木) 9:00～10:00

■会場：第2会場(大阪国際会議場
10F 1001)

O19 臨床：悪性腫瘍

座長 鯉淵智彦

(東京大学医科学研究所附属病院 感染免疫内科)

四本美保子

(東京医科大学 臨床検査医学分野)

O19-101 HHV-8関連キャスルマン病患者に
おける低Na血症に関する後方視的解析

今井一男、前田卓哉、原 悠、佐々木裕明、
藤倉雄二、長 盛親、三木田馨、三沢和央、
叶宗一郎、川名明彦

防衛医科大学校内科学(感染症・呼吸器)

O19-102 HIV感染悪性腫瘍患者の終末期医療での
心理職の関わりについて：現状と課題
～国内アンケート調査と聞き取り調査を
もとに～

矢永由里子¹⁾、小島勇貴²⁾、永井宏和³⁾、
岩崎奈美³⁾、加藤真樹子⁴⁾、味澤 篤⁵⁾、
田沼順子⁶⁾、萩原将太郎⁷⁾、上平朝子⁸⁾、
岡田誠治⁹⁾

- 1) 慶應義塾大学感染制御センター
- 2) 名古屋大学
- 3) 国立病院機構名古屋医療センター
- 4) 鶴見病院
- 5) 豊島病院
- 6) 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター
- 7) 国立国際医療研究センター
- 8) 国立病院機構大阪医療センター
- 9) 熊本大学エイズ学研究センター

O19-103 リツキシマブと副腎皮質ステロイドに
より一時的に病勢コントロールが可能で
あったAIDS関連リンパ腫に伴う血球貪
食症候群の一例

小山田亮祐¹⁾、熊本忠史¹⁾、古川恵一²⁾、
森慎一郎¹⁾

- 1) 聖路加国際病院血液腫瘍科
- 2) 聖路加国際病院感染症科